

9月議会の一般質問。私は25日、災害対策、第5次エネルギー基本計画、原発ゼロ基本法案、柏崎刈羽原発を対象とした緊急時モニタリング体制などについて質問しました。その概要をお知らせします。

今議会では災害関連質問 相次ぎ、対策が一步前進

私の質問で特に力を入れたのは大雨などの災害対策です。今定例会での一般質問では災害対策についての質問が相次ぎ、わかりやすく災害情報を市民に伝えることなどで前進しそうな感じになってきています。

近年は雨の降り方ひとつとっても異常事態が各地で発生しています。国ではこうした状況をどう捉え、新たなステーションに対応した防災、減災のあり方をまとめ、自治体に対策を強化するように求めています。

私は、タイムライン（災害時にいつ何が何をやるか）を計画にしたものの取組をどう進めていくか、自分だけは大丈夫という思い込みからどう抜け出すかなどについて質問や提案を行い、村山市長、担当部長の見解を求めました。今回は行政側と知恵を出し合い、少しでも対策を前進させたいと思ったからです。担

「第5次エネルギー基本計画についての市長の認識はどうか」との私の質問に対し市長は、こうしたことには一切触れず、



【アキノウナギツカミ】夕デ科の1年草。漢字で「秋の鰻掴み」と書きます。県道脇の湿地に咲いていました。莖には下向きのトゲがあります。花期は8月～11月。花言葉は、「思わぬ利益」「好奇心旺盛な」だとか。23日、撮影。

「日本経済を支えるエネルギーの安定確保はもとより、災害時等におけるバックアップ可能な多様な柔軟なエネルギーのベストミックスの確立につながる」と計画を評価しました。原発ゼロ基本法案についても、「衆議院の経済産業委員会に付託され継続審議となっております。今後注視してま

「この要請に基づく国の今後の対応がポストの増設に関しては、原子力発電所が立地する道県の知事等で構成する「原子力発電関係団体協議会」が本年5月、UPZ外の緊急時モニタリングを確実に実施できる体制を、早期に構築するよう国に要請しているとして、

水害や原子力災害から市民の暮らしをどう守るか

当部長とのやりとりの中で、市民個人や団体のマイタイムラインのカード作成などで対策は前に出ると確信しました。

「いたい」とのべるにとどまりま

心を注視してまいりたいとのべました。いろんな角度から要請してほしいものです。

原発再稼働のエネルギー基本計画を市長は評価

7月に閣議決定した第5次エネルギー基本計画は原子力発電電をベースロード（基幹）電源として位置付け、2030年度の電源構成で、原発の比率を20%、22%にするという内容です。老朽原発も建設中の原発も稼働させないと実現できないものです。これは世論に逆行する計画です。

緊急時モニタリング体制 電光表示などで改善へ

柏崎刈羽原発問題、市民の命と安全を守るためには再稼働させないことが一番ですが、今回の質問では同原発の緊急時モニタリング体制について質問しました。答弁の中で、今年の6月から私たち議員団がとり上げてきた放射線量の計測ポイントを24時間電光表示にすることなどが実現することが明らかになりました。また、30キ口圏を越える地域でのモニタリ



カバーがかけられたままのモニタリングポスト。7月、柿崎区雁海にて調査する日本共産党議員団。

はしづめ法一の
活動レポート

No.1877 2018.9.30
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/

ブログ「ホーセの見えある記」はこちら
橋爪法一 検索

春よ来い

第五二五回

花オクラ

六〇数年生きていて、初めて知ることが少なくありません。先日上越市の山間部にあるTさんの家へ行き、花オクラというものがあることを初めて知りました。

この日は地元のMさんとともにTさん宅を訪ねたのですが、キュウリの漬物などをいただいたながらお茶を飲んでいて、窓の外に見えた黄色い大きな花が気になりました。「あの花はなんという花？」と聞くと、Tさんは、「花オクラです」と言われました。色や大きさは違うものの、花の形はハイビスカスやムクゲの花と似ています。「一日花なんでしょう」と私が尋ねると、「そうです」との答えです。

一日花だと聞いた途端、私はすぐ写真を撮りたくまりました。ひと月ほど前に、サボテンの一日花と初めて出会い、大きく咲いたところもしほむところもみていたので、私の好奇心が一気に高まったのです。お茶の途中でしたが、カメラを持って花畑に行きました。

そばに行くと、花は思っていた以上に大きく、直径一五〜二〇センチほどで、普通のオクラの花の倍はありました。花びらは薄黄色で、五枚です。全体のふんわりした雰囲気はフヨウにそっくりでした。私は花の上や横から何枚も写真を撮りました。

撮り終わって、居間に戻ると、Tさんが花オクラは食べられるというのです。この話を聞いてまたびっくりしました。今年はウドの花を天ぷらで食べると美味しいという話を初めて聞いていましたが、今度は花オクラ、まさに驚きの連続です。

花オクラが食べられるということはTさんだけでなく、一緒に行ったMさんも知っていました。Mさんによると、熱湯に酢を少し入れておき、花びらをさっと入れ、あげると、それにポン酢をかけて、はい出来上

がりだとか。簡単に食べられるということでした。料理したものはオクラの実と同じようにネバネバしたところがあるとも聞きました。

Tさん宅でのお茶飲みでは花のことだけでなく、野菜のことも話題になりました。

九月も後半になってくると、畑で収穫したキュウリやナス、カボチャ、スイカなどの残りの始末もしなければなりません。TさんとMさんの会話の中で、食べきれなくなった野菜を畑に返しているというのが出てきて、これまた驚いた次第です。

実際、Tさんの畑には黄色くなったキュウリ、スイカ、メロンなどがいくつも転がっていました。これらは余ったから畑に返していたのです。わが家では、余ったものは堆肥置き場に投げておくのが通例でしたので、この話はとても新鮮でした。

この日はTさん宅で一時間近くもゆっくりさせてもらいました。この間に、私は花オクラの写真をインターネットで発信していました。その際、「花びらは酢の物にするとおいしいとか」と書いたことから、思いのほか反響がたくさんありました。

そうなる、私自身も食べないではいられません。翌日、Tさん宅に再びおじゃまをし、花オクラの花を七、八個もらってききました。もちろん、料理するためです。

私流のやり方を紹介しますと、まずは中くらいの鍋に水を入れてわかす。沸騰したところで酢を少したらす。あらかじめ洗っておいた花びらを入れ、しゃぶしゃぶに近い感覚でさっと湯がく。しんなりした花オクラを皿にのせて、料理は終了です。

今年はどういうわけか、「食べられる花」を発見する年です。酢と醤油を少々かけた花オクラを口に入れると、オクラと同じネバネバ感がさっと広がりまし

【栗ご飯を食べながら】

橋本正幸市議の地元で開かれた「栗ご飯とトン汁を食べながらの議会報告会」に参加してきました。

報告の後の意見交換では、オーレンプラザの利用や教科書採択のことが話題になりました。また、88歳の男性が戦時下で食べた「かきもち」について語ってくださいました。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと

	9月19日(水)	9月26日(水)
上越南消防署	0.057	0.043
上越北消防署	0.047	0.040
新井消防署	0.040	0.047
頸北消防署	0.057	0.047
頸南消防署	0.060	0.050
東頸消防署	0.037	0.047
高士分遣所	0.053	0.050
名立分遣所	0.053	0.043

【よしかお福祉まつり】22日、久しぶりによしかお福祉まつりに参加してきました。福祉施設入所者やいきいきサロン参加者など大勢が会場の吉川体育館に集まりました。

オープニングは小田さんの法螺貝。そして鼓舞衆のみなさんの踊り、これはもう欠かせません。今回は小学生も加わったほか、市域を超えて柏崎からも演奏に駆け付けてくれた人がいました。太鼓演奏に続いては、よしかお保育園園児による踊り(写真)でした。曲は「明日きつと いい日になる」「心の



花」、とてもかわいかったです。私は1時間ほどしかいなかったのですが、会場では、日頃、なかなか会えない人たちと再会することができました。よく知っている人が元気だとこちらも元気になります。